

## 第1章 策定及び中間見直しの趣旨と計画の位置付け

### 1 策定の趣旨

上下水道は市民生活と社会経済活動を続ける上で重要なライフラインとなっています。当市では、「水道ビジョン」（計画期間：2009(平成 21)～2018(平成 30)年度）と「下水道ビジョン」（計画期間：2010(平成 22)～2018(平成 30)年度）により、将来のあるべき姿と方向性を示した上で、目指す将来像に向けた取組を進めてきたところです。

水道事業は、1956（昭和 31）年に給水を開始し、急激な人口増加など市勢の発展に対応するため、4期にわたる拡張事業により段階的に施設整備を進め、高度浄水処理の導入や配水区域のブロック化、定期的な洗管作業、石狩東部広域水道企業団への参加による広域連携の推進等により、安全な水道水の安定供給に努めてきました。

また、2014(平成 26)年に発生した断水災害以降、原水貯留施設の整備や緊急貯水槽<sup>※</sup>の増設、給水車の増車、札幌市との緊急時連絡管<sup>※</sup>の整備等、災害対策も進めてきました。

下水道事業は、1964（昭和 39）年に開始された道営による大麻団地の造成を契機に始まり、1966（昭和 41）年には市の公共下水道事業を開始し、江別駅周辺の既成市街地から順次、市街地の拡大に応じて処理区域と施設を拡張し、公衆衛生の向上や浸水被害の防除、公共用水域の水質保全、下水道資源の有効利用に努めてきました。また、水道水源である千歳川の汚濁防止を図るため、南幌町の汚水を当市の浄化センターで処理する広域化<sup>※</sup>にも取り組んできました。

両事業とも 30 年以上の長期にわたり、消費税以外での料金等の値上げをしないで、民間への業務委託の拡大等、経営の効率化に努め、健全経営を維持してきたところです。

しかしこの間、水道・下水道サービスの提供に必要な施設等の老朽化が進み更新需要が増大する一方で、人口減少や節水機器の普及により水需要が低下し、初めて収入が減少傾向に転じました。職員の退職に伴う技術力の維持や、台風や豪雨、地震などによる災害対策の充実も課題となっており、経営環境は厳しさを増しています。

国は、人口減少社会の到来や東日本大震災などによる社会情勢の変化を踏まえ、2013（平成 25）年に厚生労働省が「新水道ビジョン」を、2014（平成 26）年には国土交通省が「新下水道ビジョン」を、更に 2017（平成 29）年には「新下水道ビジョン加速戦略」を策定し、今後取り組むべき事項や方策等が示したところです。

また、総務省からは、公営企業が健全かつ安定的に事業を継続するため、中長期的な基本計画である「経営戦略」を策定し、収支の見通しや対策を公表するよう要請されています。

これらに対応するため、当市ビジョンの計画期間が終了するに当たり、社会情勢の変化に的確に対応し、効率的かつ安定的に持続可能な上下水道事業を再構築する観点から、課題を整理し、今後の取組の目指すべき方向性や方策を明確化することにより、事業運営の指針となるよう、2019（平成元）年度から 10 年間を計画期間として、新たな「江別市上下水道ビジョン」を策定しました。

### 2 中間見直しの趣旨

現在、本ビジョンで定めた施策に対し、具体的な取組を推進しているところですが、その間、改正水道法の施行（2019（令和元）年 10 月）や北海道胆振東部地震によるブラックアウト停電の発生、さらには、市上位計画である第 6 次江別市総合計画の計画期

間終了に伴い、新たに2024（令和6）年度からは第7次江別市総合計画がスタートします。

そこで、本ビジョンのフォローアップとして、計画期間の途中で内容を一部見直すこととし、各施策の進捗状況の検証と評価、さらには、物価高騰等の社会情勢の変化を踏まえ、目指すべき将来像に向けより効率的な取組を推進していくため、本ビジョンの中間見直し版を策定するものです。

### 3 計画の位置付け

「江別市上下水道ビジョン」は、国から示された「新水道ビジョン」、「新下水道ビジョン」の考え方を踏まえ、上位計画である「えべつ未来づくりビジョン（第6次江別市総合計画）」の基本構想と分野別の政策との整合を図り、今後の上下水道事業の将来を見据えて策定したものです。

本ビジョンの中間見直し版は、第7次江別市総合計画と整合性を図りつつ、「基本理念」、「目指すべき将来像」、「基本目標」は、将来を展望しながら設定し、これらを実現するため残りの計画期間である2024（令和6）年度から2028（令和10）年度まで5年間の「実現方策」や投資・財政計画等を見直ししました。さらに、持続可能な上下水道事業を進めるために必要な視点として、SDGsの目標達成を意識した計画になるよう努めました。

なお、このビジョンは水道と下水道を個別に策定していたものを統合し、総務省が公営企業に策定を求めている「経営戦略」を盛り込み、上下水道事業の最上位計画として位置付けるものです。

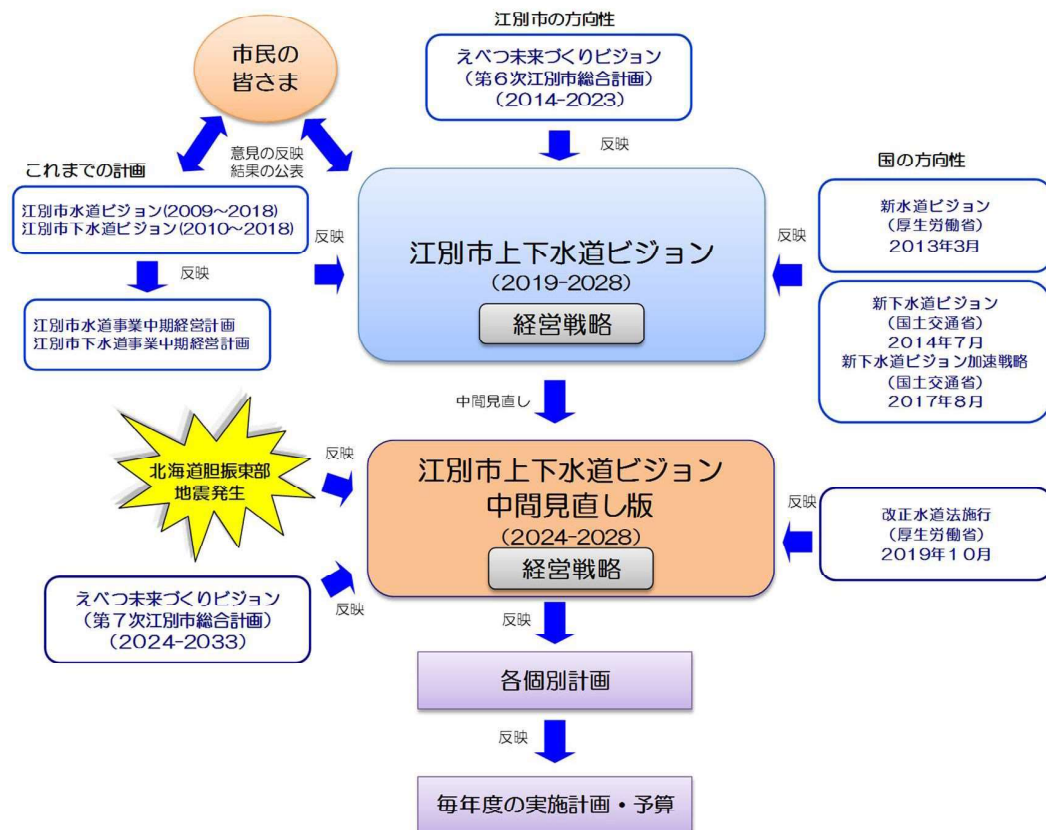


図 1-1 江別市上下水道ビジョンの位置付け